

燃料デブリ取り出し準備 スケジュール

分野名	括り	作業内容	これまで1ヶ月の動きと今後1ヶ月の予定	7月		8月					9月					10月	11月	備考
				23	30	6	13	20	27	3	10	17	24	上	中	下	期	
建屋内除染	共通	(実績) (予定)  (実績) ○【検討】PCV内部詳細調査に向けた現場環境改善(継続) (予定) ○【検討】PCV内部詳細調査に向けた現場環境改善(継続)  (実績) ○【検討】PCV内部詳細調査に向けた現場環境改善(継続) (予定) ○【検討】PCV内部詳細調査に向けた現場環境改善(継続)  (実績) (予定)	検討・設計  検討・設計  検討・設計  現場作業  検討・設計  現場作業															完了時期 ・アクセスルート構築の検討(IRID):2017年度上期予定 ・線量低減および干渉物除去等の検討:2017年度上期予定  完了時期 ・アクセスルート構築の検討(IRID):2018年度上期予定 ・線量低減および干渉物除去等の検討:2017年度上期予定
						【検討】PCV内部詳細調査に向けた現場環境改善 アクセスルート構築の検討(IRID)												
						線量低減および干渉物除去等の検討												
格納容器調査・補修	共通	(実績) ○【研究開発】格納容器水張りまでの計画の策定(継続) ○【研究開発】格納容器補修・止水技術の開発(継続) ○【研究開発】補修工法の実機適用に向けた環境改善の検討(継続)  (予定) ○【研究開発】格納容器水張りまでの計画の策定(継続) ○【研究開発】格納容器補修・止水技術の開発(継続) ○【研究開発】補修工法の実機適用に向けた環境改善の検討(継続)	検討・設計  検討・設計  検討・設計  検討・設計  検討・設計  検討・設計  検討・設計  検討・設計  検討・設計  検討・設計  現場作業			【研究開発】格納容器水張りまでの計画の策定 止水箇所に対する想定漏えい要因等の整理												完了時期 ・アクセスルート構築の検討(IRID):2017年度上期予定 ・線量低減および干渉物除去等の検討:2017年度上期予定
						【研究開発】格納容器補修・止水技術の開発 [S/C脚部の補修技術開発]耐震性の検討・長期健全性の評価												
						【研究開発】格納容器補修・止水技術の開発 [ベント管理設による止水技術開発]実機環境を想定した要素試験計画の策定												
						[S/C内充填による止水技術開発] 実機環境を想定した要素試験計画の策定												
						[真空破壊ライン・接続配管の止水技術開発] 真空破壊ライン用ガイドパイプ・止水プラグの改良												
						[トラス室壁面貫通部の止水技術開発] 実機環境を想定した要素試験計画の策定												
						[接続配管ベローズ・機器ハッチシール部の止水技術開発] 実機環境を想定した要素試験計画の策定												
						[D/Wシールの補修技術開発]補修装置の概念設計および止水材の要素試験計画策定												
						【研究開発】補修工法の実機適用に向けた環境改善の検討 補修工法の作業ステップの整理および干渉物・作業可能な線量等の検討												
				燃料デブリ取り出し準備	共通	(実績) ○【研究開発】格納容器内部調査技術の開発(継続) ○【研究開発】圧力容器内部調査技術の開発(継続)  (予定) ○【研究開発】格納容器内部調査技術の開発(継続) ○【研究開発】圧力容器内部調査技術の開発(継続)	検討・設計  検討・設計  現場作業			【研究開発】PCV内部調査技術の開発 PCVベテスタル内(CRD下部、フラットホーム上、ベテスタル地下階)調査技術の開発								
		PCVベテスタル外(ベテスタル地下階、作業員アクセスロ)調査技術の開発																
		【研究開発】RPV内部調査技術の開発 穴あけ技術・調査技術の開発  サンプリング技術の開発																
燃料デブリの取出し	1号	(実績)なし (予定)なし	現場作業															
燃料デブリの取出し	2号	(実績)なし (予定)なし	検討・設計  現場作業															
燃料デブリの取出し	3号	(実績)格納容器内部調査 (予定)なし	検討・設計  現場作業			<b>実績の反映</b> PCV内部調査片付け 常設監視計器取付 準備・実施												

燃料デブリ取り出し準備 スケジュール

分野名	括り	作業内容	これまで1ヶ月の動きと今後1ヶ月の予定		7月		8月				9月			10月		11月	備考	
			23	30	6	13	20	27	3	10	17	24	上	下				
RPV/PCV健全性維持		(実績) ○【研究開発】圧力容器/格納容器の腐食抑制技術の開発(継続) ○【研究開発】圧力容器/格納容器の耐震性・影響評価手法の開発(継続) ○腐食抑制対策 ・窒素ハブリングによる原子炉冷却水中の溶存酸素低減実施(継続) (予定) ○【研究開発】圧力容器/格納容器の腐食抑制技術の開発(継続) ○【研究開発】圧力容器/格納容器の耐震性・影響評価手法の開発(継続) ○腐食抑制対策 ・窒素ハブリングによる原子炉冷却水中の溶存酸素低減実施(継続)	検討・設計															
			現場作業															
炉心状況把握		(実績) 【炉心状況把握解析】 ○【研究開発】事故時プラント挙動の分析(継続) ○事故関連factデータベース構築(継続) ○【研究開発】炉内状況の総合的な分析・評価(継続) ○3号機ミュオン透過法による測定(継続) (予定) 【炉心状況把握解析】 ○【研究開発】事故時プラント挙動の分析(継続) ○事故関連factデータベース構築(継続) ○【研究開発】炉内状況の総合的な分析・評価(継続) ○3号機ミュオン透過法による測定(継続)	検討・設計															
			現場作業															
燃料デブリ取り出し準備	取出後の燃料・デブリ安定保管	(実績) ○【研究開発】燃料デブリ性状把握 ・収納/保管に資するデブリ特性の把握(継続) ・MCC1生成物の特性評価(継続) ・分析に必要な要素技術開発(継続) (予定) ○【研究開発】燃料デブリ性状把握 ・収納/保管に資するデブリ特性の把握(継続) ・MCC1生成物の特性評価(継続) ・分析に必要な要素技術開発(継続)	検討・設計															
			現場作業															
燃料デブリ臨界管理技術の開発		(実績) ○【研究開発】燃料デブリ臨界管理技術の開発 ・臨界評価(継続) ・炉内の再臨界検知技術の開発(継続) ・臨界防止技術の開発(継続) (予定) ○【研究開発】燃料デブリ臨界管理技術の開発 ・臨界評価(継続) ・炉内の再臨界検知技術の開発(継続) ・臨界防止技術の開発(継続)	検討・設計															
			現場作業															
燃料デブリ収納・移送・保管技術の開発		(実績) ○【研究開発】燃料デブリ収納・移送・保管技術の開発 燃料デブリ収納缶の移送・保管システムの検討(継続) 燃料デブリ収納缶の仕様、安全評価に関わる検討(継続) (予定) ○【研究開発】燃料デブリ収納・移送・保管技術の開発 燃料デブリ収納缶の移送・保管システムの検討(継続) 燃料デブリ収納缶の仕様、安全評価に関わる検討(継続)	検討・設計															
			現場作業															

測定終了時期は検討中